

NEST ロボコン 2026 レスキュー競技指針

▼競技紹介▼

NEST ロボコン「レスキュー競技」は、ロボカップジュニアのレスキュールールを基にしたオリジナルの競技である。

▼実施競技▼

NEST ロボコンで実施する競技の名称を略記します。

- RWL:World Class Rescue Line (ワールドクラス レスキューライン)
- RCL:Challenge Class Rescue Line Entry (チャレンジクラス レスキューラインエントリー)
- RWM:World Class Rescue Maze (ワールドクラス レスキューメイズ)
- RCM:Challenge Class Rescue Maze Entry (チャレンジクラス レスキューメイズエントリー)

※RWM 以外関東ブロックで使用予定のフィールドを敷設し、持参したロボットで競技を行います。競技の順位決定方法等については、各競技のルールを参照ください。

▼適用ルール▼

- RWL: [RoboCupJunior Rescue Line Rules 2025 \(日本語翻訳版\)](#)
- RCL: [Rescue Line Entry Rules 2026](#)
- RWM: [RoboCupJunior Rescue Maze Rules 2025 \(日本語翻訳版\)](#)
- RCM: [Rescue Maze Entry Rules 2026](#)

▼競技ルールの優先順位▼

NEST ロボコンでは、競技ルールは下記に示す優先順位で実施します。それぞれの資料に同様の項目が記されていた場合、より優先度の高い資料の記述を参照します。

- 1) 本大会におけるローカルルール(別紙参照)
- 2) 各レスキュー競技のルール(前述の「▼適用ルール▼」項を参照)

(次ページに続く)

▼車検▼

各チームは、会場での調整を始める前に車検に通過する必要があります。提示されたスケジュール内に車検を済ませ、合格シールをロボットの見える位置に貼ってください。

【確認項目】

- バッテリーが適切に使用されているか (対象:全競技共通)
⇒該当するリチウムイオン二次電池を使用するチームは、ロボットと共に、チェックシートと、持ち込んだすべての電池、充電器を提示すること。
- ハンドルが設置されているか (対象:全競技共通)
⇒公式ルール・ローカルルール記載の基準を守り、誰でも破損なく安全に持ち上げられること(ひもなどではNG)
- リセットスイッチおよび、その操作が明確か (対象:全競技共通)
⇒競技進行の停止(LOP)の時の操作手順をデモしてください。
(競技中はその方法でのみ操作可)
- 無線通信(電波)の使用状況の確認 (対象:全競技共通)
⇒競技中の無線使用不可。(ただし、ルールに則ったロボット内での通信は可)
- レーザーの使用
⇒RCL, RCMでの使用は禁止。RWL, RWMはclass 1かclass 2の規格でのみ許可。
レーザーを使用するチームはレーザーのデータシートを持参ください。
- フィールドの破損のおそれがないか (対象:全競技共通)
⇒フィールドを傷つける恐れのある突起部やフィールドを汚すおそれがないこと。
- ロボットの外形に問題がないか (対象:全競技共通)
⇒配線材などがロボットの外形をはみ出していないこと。電池や基板がロボット本体に固定されていること。
- 被災者発見などのアピールのLEDの位置 (対象: RWM,RCL,RCM)
⇒「LED点灯が審判から見やすいか」、「きちんと点滅するか」、「発見アピール時以外は消灯しているか」などを確認するため、車検時に点灯できるようにしておくこと。
- ロボットのサイズ (対象:全競技共通)
⇒高さが25cm以下であること。
- レスキューキットのサイズ(対象: RWM)
⇒最小サイズは幅奥行高さとも1cm以上、容積が1cm³以上であること。

車検完了後に、大会管理システム(CMS)への登録を行います。(対象:全競技共通)

⇒ロボットの写真とメンバーの写真を撮影(メンバー全員での参加が必要)

以上